



株主・投資家のみなさまへ

第144期中間期のご報告 (2007年4月1日~2007年9月30日)

TOLI REPORT

ひとつの空間について考えることは、 そこに集まる人や、 自然環境について考えること。

そこに集まる人に、毎日の生活を自由な色彩で描いてほしい。 快適で感性豊かな空間を提案するトータルインテリアメーカーとして、 東リがお届けするのは、「365日のビューティフル」。 人を包みこむ空間、自然、社会との関わりの中で、 大きな視点からインテリアを考えています。

株主・投資家のみなさまにはますます ご清栄のこととおよろこび申し上げます。 平素は格別のご支援ご愛顧を賜り、まこ とに有難く厚く御礼申し上げます。

さて、このたび第144期上半期(2007 年4月1日~2007年9月30日)を終了いた しましたので、当社グループの事業の概 況および決算の状況などをご報告申し 上げます。



当社グループの経営の基本方針

当社グループは、経営理念として〈インテリア 事業を通じて生活文化の向上に貢献する〉〈顧 客中心主義を行動規範とする〉〈トータルインテ リアのリーディングカンパニーを目指す〉の3つを 掲げ、事業活動を行っております。『すべては お客様のために」を行動指針とし、住宅やオフ ィス、学校、医療・福祉施設、商業施設など、あ らゆる住・生活空間に豊かさをご提供するもの づくりやサービスに努めることで、企業価値の 向上に取り組んでおります。

また、法令を遵守することはもちろん、地球環 境保全にも配慮するなど社会に対する責任を 果たすべく、良識ある健全な企業活動に徹し、 世の中から信頼され期待される企業グループ を目指しております。

当社グループの営業の概況

当中間期におけるわが国経済は、企業業績の好調な推移に伴い、民間設備投資が持続的に拡大し、雇用や所得環境の改善が促され、景気は緩やかながら成長基調を維持しました。

しかしながら、インテリア業界を取り巻く環境は、 改正建築基準法施行に伴う建築確認申請の 減少および審査の遅れによる住宅着工数への 影響や原油価格高騰に起因する原材料コスト の上昇、低価格品への需要シフト等が顕在化 してきており、厳しい状況にあります。このような 状況の中、当社グループは中期経営計画 「GROW UP 2008」の重点目標達成に向け た諸施策を推進することを通じ、さらなる事業 収益力の強化ならびに企業価値の向上に努 めてまいりました。

結果といたしましては、当中間期における売上高は45,674百万円(前年同期比0.7%減)となりました。また、損益面につきましても、製造工程における徹底的な合理化や全社的な業務体制の見直し等を行い、収益性向上に努めましたが、長期にわたり高騰を続ける原油価格に起因した原材料調達コストの増大が、当社グループ損益に与える影響は大きく、経常損失は312百万円(前年同期経常利益243百万円)、中間純損失は276百万円(前年同期中間純利益56百万円)となりました。

なお、当期の中間配当につきましては、インテリア業界を取り巻く経営環境を鑑み、見送ることとさせていただきました。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解 を賜りますようお願い申し上げます。

対処すべき課題

当社グループは、中期経営計画 「GROW UP 2008」を策定し、重点戦略目標達成に向けた取り組みを推進しております。当社グループは、業界を牽引するトータルインテリアメーカーとして、その社会的使命を認識し、お客様に快適なライフスタイルをご提案するため、きめ細かな商品展開や積極的な販売促進に尽力してまいります。中期経営計画を着実に推進することを通じ、原油価格高止まりに伴う主要原材料コストの上昇や競合激化など不透明な経営環境課題を乗り越え、当社グループがさらに強靭な事業基盤を確立し、成長を加速させることが重要な経営課題と考えております。

具体的施策の1つとして、当社は昨年12月に、 三菱レイヨン・カーペット株式会社(現株式会社MCP)のカーペット事業を譲り受け、岐阜県養老郡の生産拠点(MRM岐阜株式会社)を新たに当社グループに取り込むとともに、三菱レイヨン株式会社との合弁による販売会社(ダイヤ・カーペット株式会社)を設立し、営業を開始いたしました。それぞれが蓄積してきたノウハウや技術を融合させた魅力的な商品の開発、さらにはスケールメリットを活かした効率的な生産体制確立と商品供給力アップによる売上拡大を早期に実現し、事業収益力の強化に努めてまいります。 また、当社グループでは、2008年4月より適用が開始される金融商品取引法に対応した「財務報告に係る内部統制システム」の構築を推進しております。当社グループが行う財務報告の信頼性をこれまで以上に高めるとともに、会社法に定める内部統制システムの確実な構築・運用を通じ、企業経営のより一層の効率化・明瞭化とガバナンス体制の強化に取り組んでまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、今 後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長

柏原賢二

主な納入実績

エリア	物件名
北海道	株式会社 ドーコン 本社ビル
北海道	株式会社 HBA 本社ビル
秋田県	大館市立総合病院 高層棟
長野県	サンクタスヴィレッジ軽井沢
東京都	中央合同庁舎7号館
東京都	Think Park
愛知県	岡崎市役所 東庁舎
愛知県	学校法人 藤田学園 生涯教育研修センター
大阪府	毎日インテシオ
大阪府	大阪市消防局本庁舎
香川県	ゆめタウン高松
広島県	西川ゴム工業株式会社 本社ビル
福岡県	福岡記念病院 福岡中央総合検診センター
鹿児島県	イオン鹿児島ショッピングセンター

納入物件のご紹介



●東京ミッドタウン Galleria (東京都)



■富士フィルムホールディングス(株) (東京都)

•MT-5000



●アルツ磐梯リゾート磐梯山温泉ホテル (福島県)

特注タイルカーペット

塩ビ製品事業

塩ビ製品につきましては、意匠性のみならず、施工の簡易性や高い機能性を備え幅広く展開するビニル床タイル「ルースレイ」シリーズが、シックで落ち着いたオフィス、シンプルでモダンな教育施設、暖かみのある医療・福祉施設等、様々な空間づくりのお役に立てたことで、好調に推移しました。また、本年8月には、欧州家具トレンドを取り入れた新柄や抽象柄によるモダンで個性的な空間演出を目指し、プリントタイル「テラ」・「メル」シリーズの5品種を改廃しました。その中でも特に、木目調プリントタイル「テラウッド」が、商業施設から住宅まで幅広い分野で好評を博しております。しかしながら、中・大規模店舗物件における採用床材の多様化により、コンポジションタイルが大幅に減少しました。

以上の結果、塩ビ製品事業の売上高は、前年同期に比べ4.0%減の14,718百万円、営業利益は675百万円(前年同期 営業利益1,124百万円)となりました。

主な製品

◆ビニル床タイル 「リノテスタ」

ホワイトをはじめとしたライトカラーの充実。色の組み合わせバリエーション充実を考えたオレンジとブルーグリーンの新色を投入しました。また、商業施設等における「初期メンテナンス軽減」を目的として、製品表面に、あらかじめワックスを2回塗布した初期メンテナンス対応商品としました。

◆ビニル床タイル 「クリアプレーン」

目を引くピンクや黄緑、モノトーン域で明るい白と中明度のグレーを投入しました。また、トレンド性と独自性が強いアミューズメント施設、ファッション性の高い女性向け専門店に向けたカラーパレットの充実を図りました。

◆腰壁用ビニルシート 「ニュー腰壁シート」

医療・福祉施設等でご要望の多い腰壁仕上げ材として、様々な空間にマッチするカラーパレットをご用意いたしました。あわせて約10%の軽量化をしたことにより、施工性を向上させました。



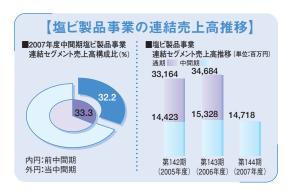
2

リノテスタ TC505 TC524 TC533

クリアプレーン CPT6303 CPT6312 CPT6314 CPT6325



ニュー腰壁シート KK2013



繊維製品事業

カーペットにつきましては、主に大都市圏を中心としたオフィス新築・リ ニューアル需要向けのタイルカーペット販売が好調であり、前年同期実 績を上回りました。また、昨年10月発売の「VARY SERIES(ヴァリーシ リーズ)」は、表情豊かなデザインと新規格のサイズ展開が評判となり、 好調な立ち上がりを見せております。さらに、昨年度設立した連結子会 社「ダイヤ・カーペット株式会社」による増収分も寄与したことで、売上 高は前年同期を上回りました。

カーテンにつきましては、本年7月に「爽やかで心地よい暮らし」をコン セプトとして、全品がウォッシャブルで防炎・遮光・消臭等多彩な機能が 織り込まれた東リカーテン [elure (エルーア) 2007-2009] を発売しまし た。しかし、ユーザーの低価格志向や流通チャネル多様化の進展によ り、市場環境は厳しい状態が続き、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、繊維製品事業の売上高は、前年同期に比べ2.8%増 の14.639百万円、営業損失は133百万円(前年同期 営業損失249百 万円)となりました。

主 な 製 品

◆東リカーペット 2007-2010

カーペットの本当の良さを実感できるウール素材、ナイロン素材を使 用した意匠性の高い新製品を数多く加え、更に施工性、クッション性、 防音性に優れた「クッションバックカーペット」を新たにラインナップする など、機能性に優れた商品を加えました。

◆「東リカーテン elure 2007-2009 |

「爽やかで心地よい暮らし」をコンセプトに安心・便利な機能を充実 させました。①全品ウォッシャブル機能付で、カーテンの汚れが気になっ たら、手軽にご家庭で洗濯することができます。②全品カーテン自体に 美しいプリーツ性を向上させる縫製仕様(ソフトプリーツ)対応です。 ③さまざまな臭いに対して優れた消臭機能を発揮しお部屋の空気を 綺麗にする「エアファイン」を使ったアイテムをご用意しました。



NR6522

東リカーペット ナチュラルスプレンダー 東リカーテン elure KSA8007B



東リカーペット 2007-2010 見本帳



東リカーテン elure 2007-2009 見本帳

【繊維製品事業の連結売上高推移】 ■2007年度中間期繊維製品事業 ■繊維製品事業 連結セグメント売上高構成比(%) 連結セグメント売上高推移(単位:百万円) 通期 中間期 31,715 28,014 13,139 14,247 14,639 31.0 32.1 第142期 第143期 第144期 内円:前中間期 (2005年度) (2006年度) (2007年度) 外円: 当中間期

その他事業

壁装材につきましては、「竹炭ケナフウォール」・「アースウォール」など、消臭や吸放湿性等の機能性に富んだ製品や「サイザル麻」・「さざなみ和紙」といった自然素材の風合いを活かした製品を多数収録した「環境壁紙」シリーズが売上を牽引しました。また、昨年6月に発売したビニル壁紙シリーズ「VS'06~'08」が、マンション市場を中心に新築・リフォーム需要を取り込み、好調に推移しました。店舗・オフィス・福祉施設市場においては、空間に落ち着きと気品を提供する木目調化粧仕上げ材「リアルデコ」が、その多彩な商品構成から数量・金額ともに前年同期実績を上回りました。

しかしながら、床材用接着剤売上や販売子会社における仕入売上の減少による影響で、その他事業の売上高は、前年同期に比べ0.6%減の16,316百万円、営業利益は25百万円(前年同期 営業利益85百万円)となりました。

主な製品

◆東リ腰壁「ウッドデコVol.5」

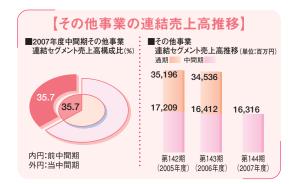
壁紙なのに木の味わいのある「ウッドデコ」に、医療・福祉施設などで求められる健康的で明るいライトカラーと、高級感を意識したダークカラーの2色を新色に加えました。また、ヨコ貼りタイプを従来の2柄から4柄に増柄し、バリエーション豊かな商品構成にいたしました。

◆木目調化粧仕上げ材「リアルデコト

「リアルデコ」はその名のとおり、リアルな木質感をマットな表情により 風合い豊かに再現した木目調化粧仕上げ材です。今回、木目のトレンドに合わせた新柄を10アイテム増色し、木目を多用した最近のモダンな 空間に対応できる多彩な商品構成にいたしました。



リアルデコ WRW1013



業績推移

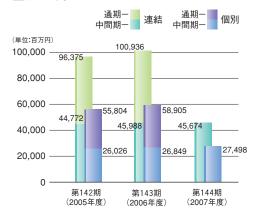
(単位:百万円)

連結	第142期(2	2005年度)	第143期(2	2006年度)	第144期(2007年度)		
連結	中間期	通 期	中間期	通期	中間期		
売上高	44,772	,772 96,375 45,988 100,936		45,674			
経常利益	765	2,736 243		2,128	△ 312		
中間(当期)純利益	540	1,565	56	1,619	△ 276		
1株当たり中間(当期)純利益(円)	8.34	23.78	0.88	25.44	△ 4.35		
総資産	產 71,769		73,222	78,034	69,318		
純資産	25,325	27,207	26,108	27,340	26,258		
1株当たり純資産 (円)	391.19	425.52	405.69	428.12	405.49		

(単位:百万円)

	(個) 第142期(2005年度) 第142即(2005年度) 第142即(2005年			2006年度)	第144期(2007年度)
נימ ויוו	中間期	通 期	中間期	通期	中間期
売上高	高 26,026		26,849	58,905	27,498
経常利益	854	2,070	151	1,214	△ 210
中間(当期)純利益	633	1,231	158	801	△ 105
1株当たり中間(当期)純利益(円)	9.78	18.77	2.48	12.58	△ 1.67
総資産	57,811	62,035	59,130	63,450	58,015
純資産	資産 22,424		22,650	22,974	22,091
1株当たり純資産 (円)	産 (円) 346.37		354.63	362.52	344.18

■売上高



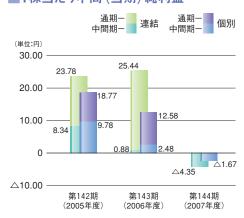
■ 経常利益



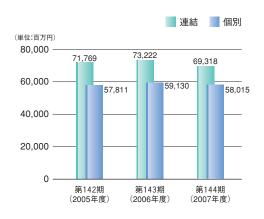
■中間(当期)純利益



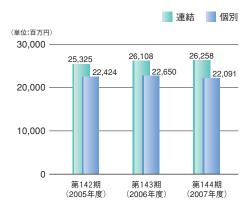
■1株当たり中間(当期)純利益



■ 総資産(中間期)



■ 純資産(中間期)



中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第143期 (2007年3月31日現在)	第144期中間期 (2007年9月30日現在)	増 減
流動資産	48,200	40,831	△ 7,369
現金預金	3,651	3,556	△ 95
受取手形·売掛金	31,243	24,735	△ 6,508
有価証券	858	960	101
たな卸資産	9,082	9,574	491
繰延税金資産	780	1,062	282
その他	2,752	1,091	△ 1,660
貸倒引当金	△ 168	△ 150	17
定資産	29,833	28,487	△ 1,346
有形固定資産	18,290	18,200	△ 90
建物·構築物	5,964	5,960	△ 4
機械装置·運搬具	3,069	2,932	△ 136
土地	8,739	8,739	
その他	517	568	50
無形固定資産	1,815	1,585	△ 229
投資その他の資産	9,727	8,700	△ 1,026
投資有価証券	6,975	5,858	△ 1,116
長期貸付金	412	277	△ 134
繰延税金資産	563	797	233
その他	2,665	2,651	△ 13
貸倒引当金	△ 890	△ 885	5
資産合計	78,034	69,318	△ 8,715
注)1.有形固定資産の減価償却累計 2.受取手形割引高	額 31,237百万円 44百万円	32,338百万円 37百万円	

科目	第143期 (2007年3月31日現在)	第144期中間期 (2007年9月30日現在)	増減
流動負債	37,658	30,972	△ 6,686
支払手形·買掛金	29,201	23,176	△ 6,025
短期借入金	600	<u>-</u>	△ 600
1年内返済長期借入金	3,145	3,700	555
1年内償還社債	1,000	1,000	
その他	3,711	3,095	△ 615
固定負債	13,035	12,087	△ 947
長期借入金	6,200	5,600	△ 600
退職給付引当金	4,866	4,628	△ 237
役員退職慰労引当金	325	229	△ 96
その他	1,643	1,629	△ 14
負債合計	50,693	43,059	△ 7,634
株主資本	24,490	24,003	△ 486
 資本金	6,855	6,855	
資本剰余金	6,468	6,488	19
利益剰余金	12,077	11,357	△ 720
自己株式	△ 911	△ 698	213
 評価・換算差額等	2,640	2,022	△ 618
その他有価証券評価差額金	2,624	1,994	△ 630
為替換算調整勘定 為替換算調整勘定	16	28	12
少数株主持分	209	232	23
純資産合計	27,340	26,258	△ 1,081
負債及び純資産合計	78,034	69,318	△ 8,715

POINT U



当中間期末の資産合計は、前期末に比べ8.715百万円減少し、69.318百 万円となりました。流動資産は、前期末に比べ7.369百万円減少し、 40,831百万円となりました。この主な要因は、売上高が下半期に偏る傾向 にあるため売上債権が減少したことによるものです。固定資産は、前期末に 比べ1.346百万円減少し、28.487百万円となりました。この主な要因は投 資有価証券の時価の変動の影響等によるものです。

POINT 2

当中間期末の負債合計は、前期末に比べ7.634百万円減少し43.059百万 円となりました。この主な要因は、売上高が下半期に偏る影響を受けて仕入 債務が減少したこと等によるものです。

POINT

当中間期の純資産合計は26,258百万円となり、自己資本比率は、37.5% となりました。

中間連結捐益計算書 (単位:百万円) 第143期中間期 第144期中間期 科目 増減 (2006年4月 1日~) (2007年4月 1日~) (2007年9月30日) 売上高 45,988 45.674 △ 314 売上原価 33.966 △ 154 34.120 売上総利益 11.868 11.708 △ 160 販売費及び一般管理費 11,694 11,927 233 △ 219 営業利益 173 △ 393 営業外収益 318 209 △ 108 営業外費用 248 302 54 経営利益 243 △ 312 △ 556 特別利益 151 26 △ 125 特別損失 △ 87 138 51 税金等調整前中間純利益 256 △ 338 △ 594 法人税、住民税及び事業税 176 29 △ 147 過年度法人税等戻入額 △ 70 70 法人税等調整額 100 △ 72 △ 172 少数株主利益(減算) \triangle 7 △ 18 \triangle 11 [△少数株主損失] 中間純利益 △ 276 △ 333 56 注) 1株当たり中間純利益 0円88銭 △ 4円35銭



当中間期の売上高は、前年同期に比べ0.7%減の45,674百万円となりました。また、原油価格の高止まりによる原材料調達コスト増加が当社グループ損益に与える影響は大きく、経常損失は312百万円となり、中間純損失は276百万円となりました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第143期中間期 (2006年4月 1日~) 2006年9月30日	第144期中間期 (2007年4月 1日~) 2007年9月30日	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	480	1,383	902
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 219	△ 513	△ 293
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 768	△ 866	△ 98
現金及び現金同等物の増減額	△ 507	3	510
現金及び現金同等物の期首残高	5,062	4,398	△ 664
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	_	3	3
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,555	4,404	△ 150

POINT 5

当中間期における現金及び現金同等物は、前年同期末に比べ150百万円減少し、4.404百万円となりました。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

商品販売やサービス提供など本来の事業によって、どれだけの資金を獲得したかを表しています。営業活動によるキャッシュフローは、1,383百万円となりました。法人税等の支払額の減少等により、前年同期に比べ増加しました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

将来の利益獲得、資金運用のためにどれだけの資金を支出し、または回収したかを表しています。投資活動によるキャッシュ・フローは、△513百万円となりました。投資有価証券の取得による支出が増加したこと等により、前年同期に比べ減少しました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動と投資活動を維持するために、どの程度の資金が調達・返済されたかを表しています。財務活動によるキャッシュ・フローは、△866百万円となりました。短期借入金の返済額が増加したこと等により、前年同期に比べ減少しました。

中間連結株主資本等変動計算書(2007年4月1日~2007年9月30日)

(単位:百万円)

		株主資本					価・換算差額			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	少数株主 持分	純資産 合計
前期末残高	6,855	6,468	12,077	△ 911	24,490	2,624	16	2,640	209	27,340
当中間期変動額										
剰余金の配当			△ 443		△ 443					△ 443
			△ 276		△ 276					△ 276
自己株式の取得				△ 2	△ 2					△ 2
自己株式の処分		19		216	235					235
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						△ 630	12	△ 618	23	△ 594
当中間期変動額合計	_	19	△ 720	213	△ 486	△ 630	12	△ 618	23	△ 1,081
当中間期末残高	6,855	6,488	11,357	△ 698	24,003	1,994	28	2,022	232	26,258

中間貸借対照表			(単位:百万円)
科目	第143期 (2007年3月31日現在)	第144期中間期 (2007年9月30日現在)	増減
流動資産	38,913	34,713	△ 4,199
固定資産	24,537	23,301	△ 1,236
有形固定資産	13,193	12,926	△ 267
無形固定資産	1,422	1,247	△ 174
投資その他の資産	9,921	9,128	△ 793
資産合計	63,450	58,015	△ 5,435
流動負債	28,562	24,943	△ 3,619
固定負債	11,913	10,980	△ 932
負債合計	40,476	35,924	△ 4,552
株主資本	20,573	20,257	△ 316
資本金	6,855	6,855	_
資本剰余金	6,468	6,488	19
利益余剰金	8,160	7,611	△ 549
自己株式	△ 911	△ 698	213
評価·換算差額等	2,400	1,833	△ 567
純資産合計	22,974	22,091	△ 883
負債及び純資産合計	63,450	58,015	△ 5,435

中間損益計算書			(単位:百万円)
科目	第143期中間期 (2006年4月 1日~) (2006年9月30日)	第144期中間期 (2007年4月 1日~) (2007年9月30日)	増 減
売上高	26,849	27,498	649
売上原価	18,798	19,696	898
売上総利益	8,051	7,802	△ 248
販売費及び一般管理費	8,045	8,045	△ 0
営業利益	5	△ 242	△ 248
営業外収益	367	330	△ 36
営業外費用	221	297	76
経常利益	151	△ 210	△ 361
特別利益	149	38	△ 111
特別損失	127	15	△ 112
税引前中間純利益	173	△ 187	△ 360
法人税、住民税及び事業税	20	20	-
過年度法人税等戻入額	△ 70	_	70
法人税等調整額	65	△ 101	△ 166
中間純利益	158	△ 105	△ 264
注) 1株当たり中間純利益	2円48銭	△ 1円67銭	

中間株主資本等変動計算書(2007年4月1日~2007年9月30日) (単位:百万								位:百万円)				
		株主資本								評価・換算		
			資本剰余金		7 - 4 -	利益剰余金			株主資本	その他有価証券	評価・換算	純資産
	資本金	資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計	自己株式	合計	評価差額金	差額等合計	合計
前期末残高	6,855	1,789	4,679	6,468	6,300	1,860	8,160	△ 911	20,573	2,400	2,400	22,974
当中間期変動額												
剰余金の配当						△ 443	△ 443		△ 443			△ 443
別途積立金の積立					500	△ 500	_		_			_
中間純利益						△ 105	△ 105		△ 105			△ 105
自己株式の取得								△ 2	△ 2			△ 2
自己株式の処分			19	19				216	235			235
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)										△ 567	△ 567	△ 567
当中間期変動額合計	_	_	19	19	500	△ 1,049	△ 549	213	△ 316	△ 567	△ 567	△ 883
当中間末残高	6,855	1,789	4,698	6,488	6,800	811	7,611	△ 698	20,257	1,833	1,833	22,091

2007年度 グッドデザイン賞 受賞



東リ タイルカーペット VARY SERIES (ヴァリーシリーズ) が 財団法人日本産業デザイン振興会が主催する 「2007年度グッドデザイン賞 |を受賞しました。

東リ タイルカーペット VARY SERIES (ヴァリーシリーズ) は、タイルカー ペットの標準的なサイズ50cm×50cmに対して、25cm×100cmの矩形サ イズおよび25cm×25cmのアクセントサイズとし、これまでにないモジュール により、定型パターンやランダムな貼り方はもちろんのこと、組み合わせ方 においては、さらに自由で斬新な空間演出を提案いたします。

今回の審査においては「独創的かつ斬新な造型表現がなされ、新し いものづくりを提案している。また、それを可能にする高度な製造技術も 評価に値する。」とのコメントをいただきました。

東リタイルカーペットとしては、2005年度のグラフィックタイルカーペット 「ソコイタリ」、2006年度の「東リMTEタイルカーペット」に続き3年連続 でのグッドデザイン賞受賞となります。



新商品紹介

タイルカーペット

●ディープフィールド(GX6100)

オリジナル染色により深みのある色合いを表現しました。 落ち着きのあるオフィス空間や専門店にお薦めです。



タイルカーペット

●モールシティ(GX6000)

柔らかな色味とアクセントカラーのラインナップは、多彩な貼り合わせが可能です。 ショッピングモールのような広い空間からオフィスまで、幅広くご使用いただけます。



■当社の概要

(2007年9月30日現在)

創 立 1919年(大正8年)12月1日

資 本 金 6,855百万円

従 業 員 数 693名

主な事業内容・塩ビ製品・・・・・・塩ビタイル、塩ビシート

・ 繊維製品・・・・・カーペット、カーテン

・その他・・・・・・・壁装材、床材用接着剤などのインテリア製品の製造、販売

■本社および事業所

社 兵庫県伊丹市東有岡5-125

東京本部東京都港区東新橋2-10-4

工 場 伊丹、厚木

ショールーム、札幌、東京、名古屋、大阪

営業所所在地 札幌、盛岡、仙台、さいたま、水戸、千葉、東京、八王子、

横浜、長野、新潟、名古屋、石川、静岡、京都、大阪、神戸、岡山、広島、高松、福岡、北九州、鹿児島

■役員

(2007年9月30日現在)

〈 取締役・監査役 〉 代表取締役社長 柏原腎二 専 務 取 締 役 藤田佑治 役 専 務 取 締 屋 田 正 孝 役 吉森忠重 務 取 締 勤 監 杳 7 福岡隆志 勤 監 杳 役 隅田勝之* 監 杳 役 堀村 不器雄 * 杏 役 春 名 一 典*

> 「 (注)*印の各氏は、会社法第2条第16号に 定める社外監査役であります。

〈 執行役員 〉執 行 役 員 木 宙 日 彦 役 員 山本正人 執 行 執 行 役 員 浪花芳法 行 彸 員大谷正男 執 執 行 彸 員 武田松利 行 役 執 永嶋元博

●株主メモ

決 算 期 3月31日

定時株主総会 6月

基 準 日 定時株主総会 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

同事務取扱場所 〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号

(お問い合せ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

0120-094-777 (通話料無料)

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

野村證券株式会社 全国本支店

【お知らせ】●株式関係の手続きのご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社

のフリーダイヤルおよびインターネットでも24時間承っております。 ・電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部)

0120-684-479 (大阪証券代行部)

・ホームページアドレス http://www.tr.mufg.jp/

公 告 の 方 法 電子公告の方法により、下記の東リホームページに掲載します。但し、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。

ホームページアドレス

http://www.toli.co.jp

※本誌に関する注意事項

本誌に記載されている東リグループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた東リグループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。

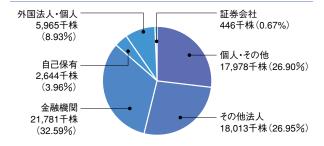
■株式数および株主数

(2007年9月30日現在)

•発行可能株式総数14	41,603千株
•発行済株式総数 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	66,829千株
•株主数······	⋯ 6,415名
1人当たりの平均持株数	・10,417株

■株式分布状況

(2007年9月30日現在)



■大株主

(2007年9月30日現在)

(200)	-0/100日5LIL/
当社への	D出資状況
持株数(千株)	出資比率(%)
4,553	7.0
2,780	4.3
2,730	4.2
2,532	3.9
2,221	3.4
1,897	2.9
1,777	2.7
1,730	2.7
1,693	2.6
1,489	2.3
	当社への 持株数(千株) 4,553 2,780 2,730 2,532 2,221 1,897 1,777 1,730 1,693

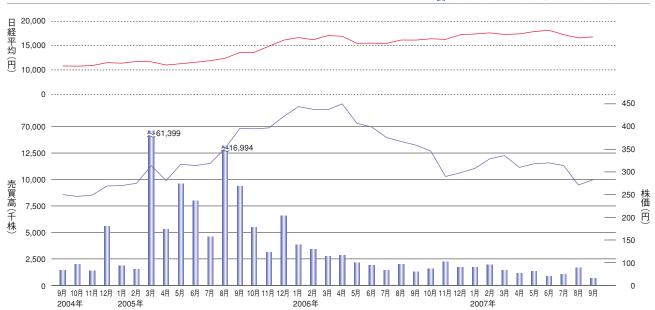
- * 当社の自己保有株式は、上表より除いております。
- * 出資比率は、自己株式(2.644千株)を控除して計算しております。

■株価と売買高の推移(東京証券取引所)









東リ株式会社 http://www.toli.co.jp

当社は、インターネット上にホームページを開設し、会社情報、商品紹介、レポートやニュースをご案内いたしております。

